

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アフタースクールクローバーキッズ学芸大学
------	----------------------

公表日 2025年12月28日

利用児童数 63名

回収数 24名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	0	0	0		法令遵守したスペースに加え、運動療育などができる広いスペースを用意しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		21	1	0	2	児童指導員を配し、利用児童の特性や必要に応じた個別サポートができる体制になるよう心がけています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		21	0	0	3	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。		23	0	0	1	良いが気になるので対策を考えたいとおもいます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		21	1	0	1	計画書作成の時には考えていたけど感じますが、実際に見る機会がないので実際のところがわかりません。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		24	0	0	0	
	7	こどものこと十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		24	0	0	0	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		24	0	0	0	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		23	0	0	1	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		24	0	0	0	毎月2つ以上の新しいプログラムを入れるということを目標に、利用児童の興味や特性に合わせたもの、年間行事での季節感などを取り入れたプログラムを各職員の得意分野を活かし、アイデアを持ち寄り毎月立案しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		4	6	3	11	利用者にとっては、地域の学園に通っていたりしている状況があります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		23	0	0	1	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		24	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		14	4	3	3	保護者会を実施したり、保護者から要望があった場合には、医療機関（病院・精神科医）の紹介を行っています。また、外部セミナーの研修会等の内容についても、玄関等での掲示を検討しています。
保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		20	2	1	1	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		21	1	1	1	相談支援事業所が関与しているケースについては、役割分担を明確にした連携を重視し、相談支援事業所が未介入の場合においても、利用児童の支援に支障が出ないよう、必要最小限の情報共有を行っていくような方向で検討してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		23	1	0	0	
	18	父母の会の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		9	6	3	6	年に1回程度の保護者会を行い、将来の自立に向けた療育の方針等を共有させて顶いたり、研修会としての場を設けております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・明記され、相談や申入れをして遅く対応されていますか。		21	1	0	2	お返しの際や個別面談などで保護者からの相談を受け、必要な助言を行つようになっています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		23	0	0	1	個々の事情や特性に応じた情報伝達に努めています。連絡帳やLINEで不安や不明なことを共有して迅速なやりとりで対応しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		20	1	0	3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。		20	0	0	2	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていましたか。発生を想定した訓練が実施されていますか。		21	1	0	2	昨年と比べて、「わからない」「知らない」を大幅に減らすことができました。実施するだけでなく、保護者の方にも伝わる工夫を継続してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		20	1	0	3	
非常時等の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		23	0	0	1	事業所内での感染症の状況で共有すべきことはLINEの一斉配信で速やかにお知らせして感染拡大防止体制を取って参りました。怪我については、救急車を呼び、保護者に連絡する。救急安心センター事業（#7119）に相談する。マニュアル化された対応策をとっており、ご報告することとしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		17	2	0	5	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。		23	1	0	0	クローバーキッズがまずは安心して来てみたいとなるところになると、お楽しみを求めてやりたいことやあるべきことも両立し安定して過ごせるよう環境設定して参ります。
	28	こどもは通所を楽しんでいますか。		22	1	0	0	集中タイムや自主学習の時間が、得意ではない児童もいます。やらせなければならないではなく、その時間とどのように過ごすか、勉強以外の楽しみや集中して取り組めて学びとなることをどのように提示するか等、試行錯誤して参ります。
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。		23	1	0	0	